

2018年4月19日

各 位

株 式 会 社 北 都 銀 行

## 働き方改革に向けた取り組みについて ～ワーク・ライフ・イノベーション（働き方改革×生き方改革）の実現～

株式会社 北都銀行(頭取 斉藤 永吉)では、働き方改革に向けた取り組みステージを一段進め、従業員一人ひとりが、それぞれのライフスタイルに応じた、柔軟な働き方と生きがいの向上を企図する新たな取り組みに着手しました。

弊行では、これまでもフレックスタイム制度の導入(2011年2月)や企業内保育施設の開設(2011年4月)、テレワークの導入(2017年4月)、制度休暇の拡充(2018年4月)等、働きやすい職場環境の整備に努めてまいりました。こうした取り組みに加え、イクボス企業同盟への参画や女性活躍機会拡大に向けた取り組みなど、組織改革や一人ひとりの意識改革にもチャレンジしております。

今年度より、働き方改革に加え、プライベートタイムを充実させる“生き方改革”との両輪で推進し、働く従業員一人ひとりの働きがいと生きがいの向上を目指します。

弊行では、「ワーク・ライフ・イノベーション」により従業員の成長⇒当行の発展⇒地域の発展のサイクルを推し進め、地域金融機関としての役割を果たしてまいります。

記

### 1. 背景

近年、日本経済において人口減少等による労働力不足が大きな課題となっております。それぞれの組織風土に合った施策を展開し、かつ働き方改革の必要性を従業員一人ひとりが理解し、主体的に行動することが重要になってきております。

加えて、共働きによる家事・育児の分担や介護など、ライフスタイルが劇的に変化していることから、多様な働き方(生き方)が求められる時代になりました。

労働時間と成果が比例する時代ではなくなっていることに加え、それぞれのライフスタイル(育児、介護、プライベートの充実)の中で、(仕事の)成果を創出できる“働き方”が求められます。

(次ページに続く)

《本件に関する問い合わせ先》

人事部【担当：西本】

TEL018-833-4211（内線 3830）

## 2. 働き方改革を進める目的および効果【イメージ】

### 目的

No.	項目	期待できる効果
1	労働時間の適正化(業務の効率化)	付加価値の高い仕事、生産性向上に繋がる
2	時間あたり生産性(限られた時間で成果)	労働生産性の向上(スマートワーク実現)
3	マルチタスク化(組織・個人力の向上)	ダイバーシティ推進(制約社員の活躍機会)

### 効果

No.	項目	詳細
1	イキイキと主体性を発揮した従業員増加	当行と地域の発展を目指し自らも働きがいや生きがいを持ち続けられる組織となる など
2	当行の発展	業務改善(無駄な仕事等)、生産性向上(付加価値の追求)、業績向上 など
3	従業員自身の人間力向上	自己研鑽、従業員の意識改革(特に男性の意識改革) など
4	地域の発展	資源活用(まちづくり)、地域貢献(人的ネットワーク構築)、次世代育成 など

## 3. 2018年4月以降に予定している(継続中)施策

- ▶ 働き方改革プロジェクトチームを起点とするアクションプランを策定。  
⇒営業店・本部の管理職を中心にプロジェクトチームを組成し、各施策等を議論、実行しております。
- ▶ 部店長が各職場の働き方改革リーダーとなり、働き方改革に向けた行動宣言および行動計画を策定し、組織的に意識改革を進めていきます。
- ▶ 各種セミナーの開催【直近では、5/22に「役職員向け働き方改革×生き方改革研修」を開催(講師:働き方改革フロントランナー2名を招聘予定)】
- ▶ 健康経営組織へのチャレンジ(運動や禁煙の促進) など

## 4. その他

2016年4月に「職業能力開発促進法」が改正となり、従業員一人ひとりのビジネスキャリアとライフキャリアを支援する組織づくりが求められてきており、それらに対応する国家資格であるキャリアコンサルタントの資格保有者拡大に向けて積極的に取り組んでまいります。【現在、当行のキャリアコンサルタント資格保有者2名(男性1名、女性1名)】

以上